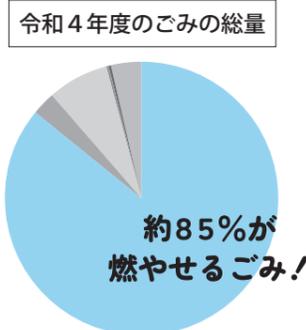




## 1 足利市のごみの量は多い？少ない？

1人1日あたりのごみの総排出量は県内で3番目に多い！  
燃やせるごみだけでみると、県平均が1人1日当たり737グラムのところ、足利市では907グラムです。  
(令和3年度実績)

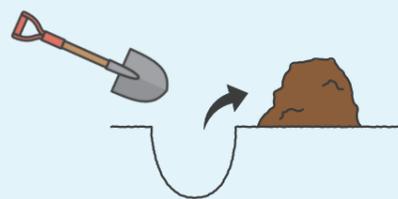


## 今日からわたしもごみ減量チャレンジ

### まるで魔法!? 生ごみが消える土の力

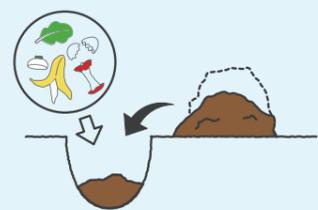


①庭または土を入れたプランターを用意し、深さ20cm程の穴を掘る



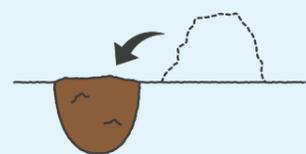
Point!!  
しっかり深めに掘る

②穴の中で生ごみと土をよく混ぜる



Point!!  
水分を多めにすると◎

③残った土をかぶせフタをする



Point!!  
乾いた土で覆うと臭いや動物被害を防止

あとはこのまま放置するだけ!



### なぜ生ごみが消えるの？

土の中にいる微生物が酸素を使って、生ごみを水や二酸化炭素に分解してくれます  
分解期間

夏：約4～5日 冬：約2～4週間

### どんなものを入れていいの？

人間が食べるものは、ほぼなんでもOK！  
油や水分は分解を促すので、水切りの必要もありません。



### こんな方におすすめ

- ✓ 家から出るごみを減らしたい
- ✓ 自宅に庭がある
- ✓ ベランダなどにプランターが置ける

## 2 どうしてごみを減らさなきゃいけないの？

理由その1 ごみを燃やすと、たくさんの二酸化炭素＝温室効果ガスが出るから

温室効果ガスは地球温暖化の原因となり、生態系や気候に大きな影響を与えています。未来の人たちも安心して暮らせるよう、国は2050年までに脱炭素社会の実現を目指す『2050年カーボンニュートラル』を表明しています。

理由その2 今の南部クリーンセンターの延命のため

南部クリーンセンターは稼働から40年が経ち、老朽化が進んでいます。新しいクリーンセンターが稼働するのは令和10年から。それまでの4年間、安全で安定したごみ処理を行うために少しでもごみの量を減らす必要があります。

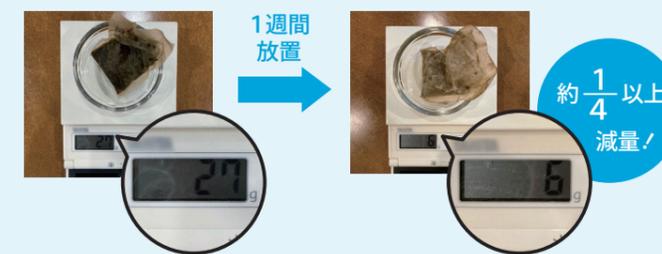


### 放置するだけ 生ごみの水切り



生ごみの大部分は水分のため、燃やせるごみとして排出する場合、水切りがごみの減量に繋がります。

ティーパックでやってみました



### こんな方におすすめ

- ✓ 手軽にごみの減量にチャレンジしたい
- ✓ お茶がらやコーヒーがらなどがよくでる

Let's eco action!

### まだまだあります 生ごみ減量チャレンジ

#### 紙類の資源化!

雑がみ袋を使って資源になる紙を増やしましょう



#### 生ごみのリサイクル!

処理機器を使って生ごみのたい肥化



#### 食用油のリサイクル!

使用済みの食用油を市内協力店で回収しています



やってみようかなと思えることから、ぜひ取り組んでみてください